

# 高齢者おでかけ促進事業「シニア半わり」令和元年度末の現況と事業効果について

## 1. 現況

### 1) 概要

○本市にお住いの 65 歳以上の方を対象に、専用のバス IC カード「シニア半わりりゅーと」や紙券「シルバーチケット」でバス運賃を精算することにより、運賃が半額となる高齢者おでかけ促進事業を平成 28 年 9 月から実施。

### 2) 目的

○超高齢社会が進展するなか、高齢者のバス利用によるおでかけの促進と健康寿命の延伸、医療費の抑制などを目的に、市内在住の 65 歳以上の高齢者を対象にバス運賃を半額とするもの。

### 3) 事業費

表 事業費の推移

| 年度       | 事業費       | 備考  |
|----------|-----------|-----|
| 平成 28 年度 | 14,509 万円 | 決算額 |
| 平成 29 年度 | 25,591 万円 | 決算額 |
| 平成 30 年度 | 25,889 万円 | 決算額 |
| 令和元年度    | 24,292 万円 | 決算額 |

### 4) 参加状況

○本市の 65 歳以上人口に占めるシニア半わり参加者数の割合は 17.1%。

表 65 歳以上人口に占めるシニア半わり参加者数の割合（参加率）

| シニア半わり開始後の<br>経過年数 | 1 年目(12 ヶ月) | 2 年目(24 ヶ月) | 3 年目(36 ヶ月) | 4 年目(48 ヶ月) |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                    | H29. 8 月末   | H30. 8 月末   | R1. 8 月末    | R2. 8 月末    |
| シニア半わり参加者数(A)      | 33,624 人    | 36,984 人    | 39,859 人    | 39,690 人    |
| 65 歳以上人口(B)        | 224,367 人   | 227,448 人   | 229,748 人   | 232,318 人   |
| 参加率(A/B)           | 15.0%       | 16.3%       | 17.3%       | 17.1%       |

### 5) 利用状況

○1 人あたりの乗車回数は、1 年目と比較すると、0.3 乗車減少している（H28 と R1 の 10 月を比較）。

表 シニア半わり利用者 1 人あたりの乗車回数

| シニア半わり開始後の<br>経過年数 | 1 年目       | 2 年目       | 3 年目       | 4 年目       |
|--------------------|------------|------------|------------|------------|
|                    | H28. 10 月  | H29. 10 月  | H30. 10 月  | R1. 10 月   |
| シニア半わり実利用者数(A)     | 18,924 人   | 23,183 人   | 25,649 人   | 26,459 人   |
| シニア半わり乗車回数(B)      | 174,602 乗車 | 221,677 乗車 | 244,616 乗車 | 236,215 乗車 |
| 1 人あたりの乗車回数(B/A)   | 9.2 乗車     | 9.6 乗車     | 9.5 乗車     | 8.9 乗車     |

※新潟交通(株)運行路線のみ

## 2. 事業効果【アンケート調査より】

### 1) アンケート調査概要

- 調査目的：シニア半わりの参加者に対して、健康寿命の延伸などに関してアンケート調査を実施し、事業効果の検証を行った。
- 実施日：令和 2 年 2 月 21 日～3 月 16 日までの 25 日間
- 調査方法：郵送配布、郵送回収
- 調査対象者：以下のとおり、令和元年 10 月末時点のシニア半わり参加者名簿から、無作為抽出。

表 配布・回答の状況

| 参加区分 | 配布数（抽出数） | 回答数      | 回答率   |
|------|----------|----------|-------|
| 参加者  | 1750 人   | 約 1100 人 | 約 60% |

※参加 1 年未満・参加 1 年以上それぞれで概ね 500 サンプル確保するため、配布数は参加 1 年未満 875 人・参加 1 年以上 875 人とした。

### 2) アンケート調査結果

#### ① おでかけ回数の増加（参加者・非参加者）

- 参加者が非参加者に比べてバスでのおでかけ回数が増えた人の割合が高い。  
→全体的なおでかけ回数は減っているが、**本事業によりバスの利用回数は増えているものと考えられる。**
- シニア半わりの継続参加者（参加 1 年以上）の増えた人の割合は約 2 割となっており、参加 1 年未満には劣るものの、**継続参加によるおでかけ促進効果がみられる。**

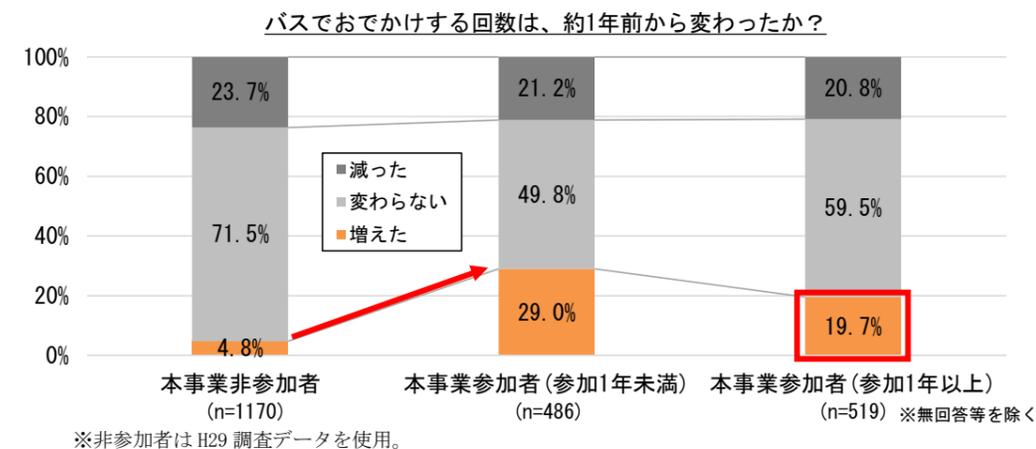


図 おでかけ回数の増減

② 買い物消費額の傾向（参加者）

○シニア半わりの利用頻度が高い人ほど、**買い物消費額が増えている。**

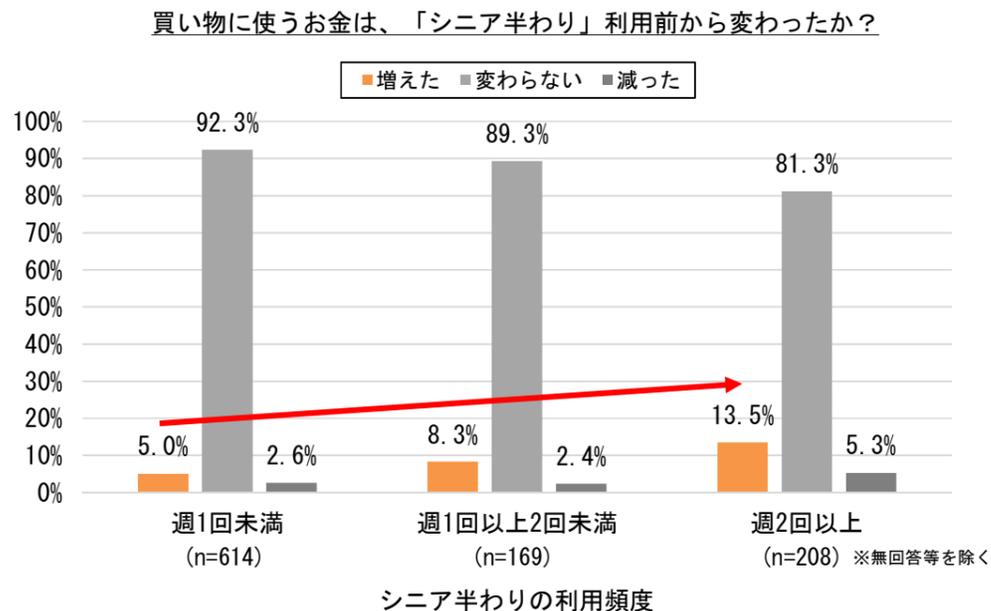


図 シニア半わり利用頻度別の買い物消費額の増減

④ ICカードの普及（参加者）

○参加者の約4分の3が「シニア半わり」をきっかけにリ्यू-とを発行しており、ICカードの普及に寄与している。

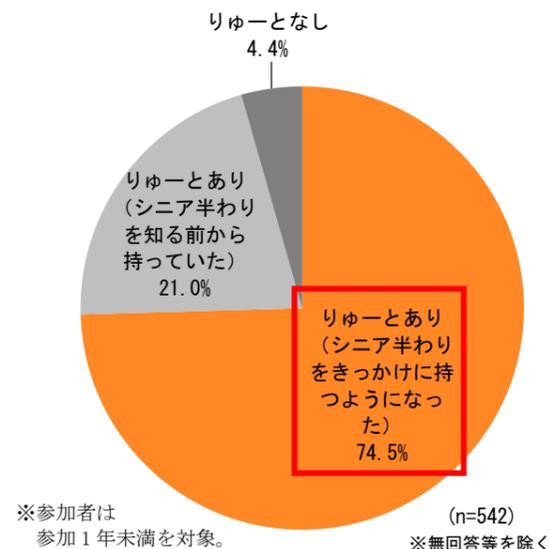


図 リ्यू-との保有状況

⑤ 本事業についての満足度（参加者）

○参加者の約84%が満足またはやや満足と回答しており、他都市の類似事例<sup>注)</sup>と同様に、本事業への満足度は高い（図6）。

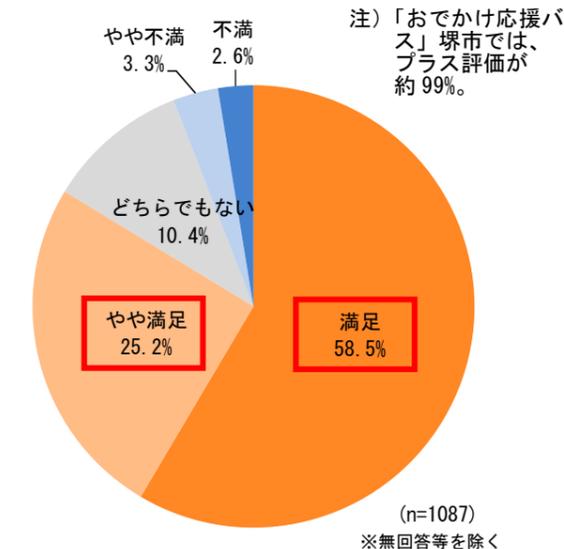


図 本事業についての満足度

③ 医療費支出の傾向（参加者）

○シニア半わりの利用回数によらず、医療費支出は増えている。  
→通院する機会が増加していることに起因されると考えられる。

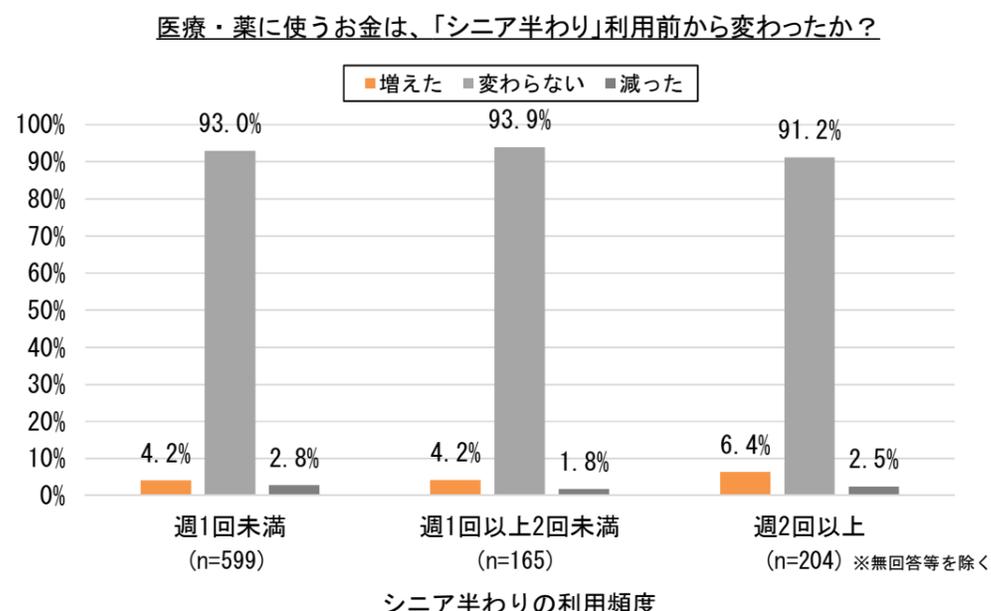


図 シニア半わり利用頻度別の医療費支出の増減

⑥ 生活での変化（参加者）

○健康、生きがいや気力ともに、「わるくなった」と回答した人はほとんどいない。  
→**本事業が生活面に良い変化を与えている**ものと考えられる。

表 シニア半わりを利用することによる生活での変化

| 回答     | ■健康は |       | ■生きがいや気力は |       |
|--------|------|-------|-----------|-------|
|        | 回答数  | 比率    | 回答数       | 比率    |
| よくなった  | 202  | 18.5% | 301       | 28.1% |
| 変わらない  | 873  | 80.0% | 746       | 69.8% |
| わるくなった | 16   | 1.5%  | 22        | 2.1%  |
| 合計     | 1091 | 100%  | 1069      | 100%  |

【まとめ】

○参加者数、乗車回数ともに増加傾向にあるほか、当該事業の目的である高齢者のバス利用による「おでかけ回数の増加」、「まちなかの活性化に寄与する買い物消費額の増加」、「当該事業の満足度」などの効果が現れつつあることが確認できた。